授業科目名・形態	精神保健福祉制度論　講義	必修選択	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	W4-3011p				

「授業の主題」

本講義では精神障害者への保健的及び福祉援助活動を進めていくうえで不可欠な視点や制度について体系的に理解していく。同時に精神保健福祉領域の知識や技術についての理解を深めること、その基盤となる援助者の基本姿勢・態度を明確にすることも目指す。

「到達目標」

- 精神障害者に関する制度と施策を理解する。
- 精神障害者の医療に関する制度の理解する。
- 精神障害者の経済・生活支援に関する制度を理解する。
- 精神障害者と生活困窮者に対する制度を理解する

「授業計画・内容」

第　１回　精神障害者に関する制度・施策・成立過程
第　２回　精神障害者に関する制度の活用の流れ
第　３回　精神保健福祉法概念と精神保健福祉士の役割
第　４回　精神科医療にかかわりを持つ施策
第　５回　医療観察法の概念と精神保健福祉士の役割
第　６回　精神障害者の医療に関する施策
第　７回　生活支援の基本的考え方
第　８回　相談支援制度
第　９回　居住支援制度
第１０回　就労支援制度
第１１回　精神障害者の暮らしに果たす経済支援
第１２回　所得保障にかかわる経済支援
第１３回　経済負担の軽減
第１４回　生活困窮と生活保護制度
第１５回　生活困窮者自立支援法・低所得者対策

「授業実施方法」 講義形式

「授業の事前・事後学習」予習復習を行うこと

「教科書等」 「精神保健福祉制度論」中央法規

「参考文献」 随時、講義中にて紹介

「成績評価方法」 筆記試験 80%、授業態度 20%等を総合して判断する。

「実務経験及び実務を活かした授業内容」

４０年以上の実務経験で福祉制度の実例等を紹介し学生がどの様にのように対応するかを考えてもらう。

「学生へのメッセージ」

本講義は、精神保健福祉士受験資格習得のための指定科目でもある。精神保健福祉士として対人援助の現場で働こうとするならば、その基礎となるものである。現場における精神保健福祉士の活躍する分野は制度論を活用することが最も多い。この分野を志す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得をしてほしい。